



令和 3 年度

稲敷市下水道事業会計予算概要



## 令和3年度下水道事業会計予算の概要

### ◎業務の予定量

令和3年度業務活動の目標として、業務の予定量を次のとおり設定しました。

区分	予定量
水洗化戸数	7,500 戸
年間処理水量	2,374,000 m <sup>3</sup>
一日平均処理水量	6,505 m <sup>3</sup>
主要な建設改良事業	308,300 千円

### ◎当初予算の規模

(単位：千円)

区 分		令和3年度	令和2年度	比較増減
収益的	収 入	2,315,798	2,389,094	△73,296
	支 出	1,900,435	1,955,193	△54,758
資本的	収 入	378,211	334,453	43,758
	支 出	1,194,670	1,138,997	55,673
収 入 合 計		2,694,009	2,723,547	△29,538
支 出 合 計		3,095,105	3,094,190	915

令和3年度収入の予算規模は、収益的収入及び資本的収入の合計で2,694,009千円となり、前年度当初予算2,723,547千円と比較すると、収益的収入で73,296千円の減、資本的収入で43,758千円の増、全体で29,538千円の減となっています。収益的収入が減少した主な要因は、収益的収入一般会計繰入金総額が前年度当初予算1,245,426千円と比較し1,181,934千円に減少したことによります。また、資本的収入が増加した主な要因は、建設改良工事の増加に伴い、企業債の発行収入が前年度当初予算198,100千円と比較し252,100千円に増加したことによります。

また、令和3年度支出の予算規模は、収益的支出及び資本的支出の合計で3,095,105千円となり、前年度当初予算3,094,190千円と比較すると、収益的支出で54,758千円の減、資本的支出で55,673千円の増、全体で915千円の増となっています。収益的支出が減少した主な要因は、減価償却費が前年度当初予算1,142,045千円と比較し1,115,708千円に減少したことによります。また、資本的支出が増加した要因は、建設改良費が前年度当初予算260,000千円と比較し308,300千円に増加したことによります。

◎企業債残高の状況

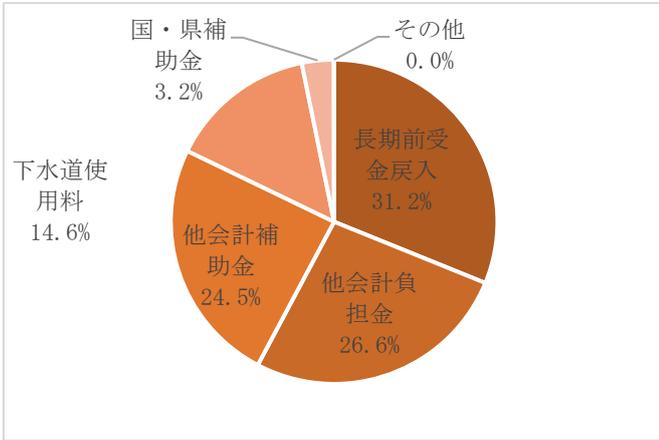
(単位：千円)

年度 項目	年	令和2年度			令和3年度			
	令和元年度	起債 見込額	元金償還 見込額	年度末残高 見込額	起債 見込額	元金償還 見込額	年度末残高 見込額	
合計	12,562,744	204,100	871,996	11,894,848	252,100	879,370	11,267,578	
借入 先別内訳	財政融資 資金	5,325,505	-	389,201	4,936,304	-	396,059	4,540,245
	地方公共 団体金融 機構	5,873,136	158,800	357,600	5,674,336	212,800	383,499	5,503,637
	日本郵政 公社資金	1,259,946	-	71,000	1,188,946	-	72,425	1,116,521
	銀行等	104,157	45,300	54,195	95,262	39,300	27,387	107,175

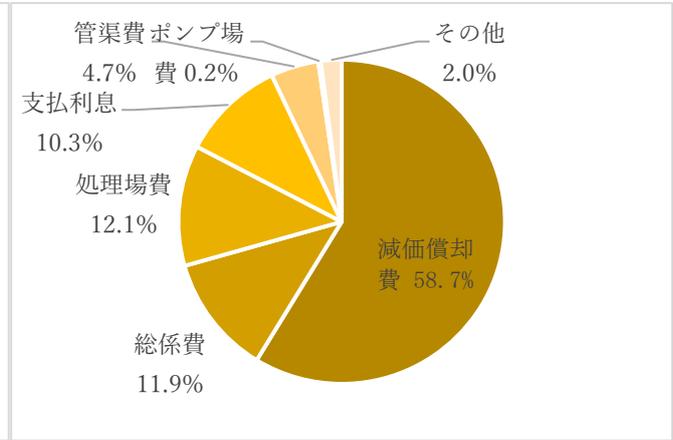
【収益的収入及び支出】

下水道事業の経営活動収支。収益は下水道使用料や一般会計負担金及び補助金、長期前受金戻入等によるものです。費用は管渠費やポンプ場費、処理場費、減価償却費、企業債利息等事業運営のための経費です。

◎下水道事業収益の構成割合



◎下水道事業費用の構成割合



◎下水道事業収益

(単位：千円)

科目	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予定額	構成比(%)	予定額	構成比(%)	増減額	増減率(%)
長期前受金戻入	721,686	31.2%	744,109	31.0%	△ 22,423	△3.0%
一般会計負担金	615,633	26.6%	660,883	27.7%	△ 45,250	△6.8%
一般会計補助金	566,301	24.5%	584,543	24.5%	△ 18,242	△3.1%
下水道使用料	338,455	14.6%	329,401	13.8%	9,054	2.7%
国・県補助金	73,186	3.2%	68,399	2.9%	4,787	7.0%
その他	537	0.0%	1,759	0.1%	△ 1,222	△69.5%
合計	2,315,798	100.0%	2,389,094	100.0%	△ 73,296	△3.1%

※長期前受金戻入：償却資産(固定資産)の取得等のために交付された補助金等を長期前受金として負債に計上し、その資産の減価償却に対応させて収益化したもの

◎下水道事業費用

(単位：千円)

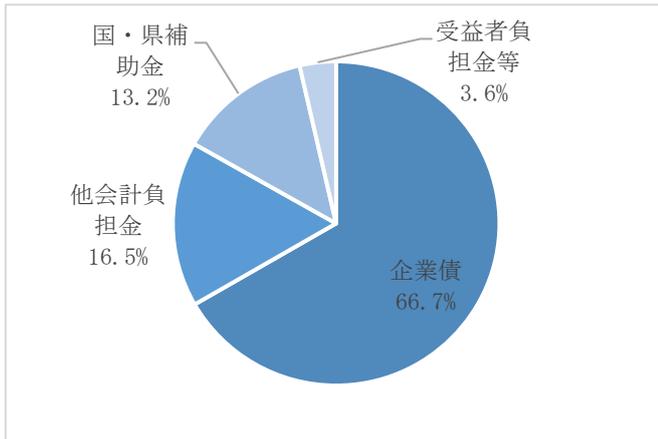
科目	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予定額	構成比(%)	予定額	構成比(%)	増減額	増減率(%)
減価償却費	1,115,708	58.7%	1,142,045	58.3%	△ 26,337	△2.3%
総係費	226,242	11.9%	243,515	12.5%	△ 17,273	△7.1%
処理場費	229,068	12.1%	234,366	12.0%	△ 5,298	△2.3%
支払利息	195,713	10.3%	213,182	10.9%	△ 17,469	△8.2%
管渠費	90,135	4.7%	83,123	4.3%	7,012	8.4%
ポンプ場費	4,694	0.2%	4,978	0.3%	△ 284	△5.7%
その他	38,875	2.0%	33,984	1.7%	4,891	14.4%
合計	1,900,435	100.0%	1,955,193	100.0%	△ 54,758	△2.8%

【資本的収入及び支出】

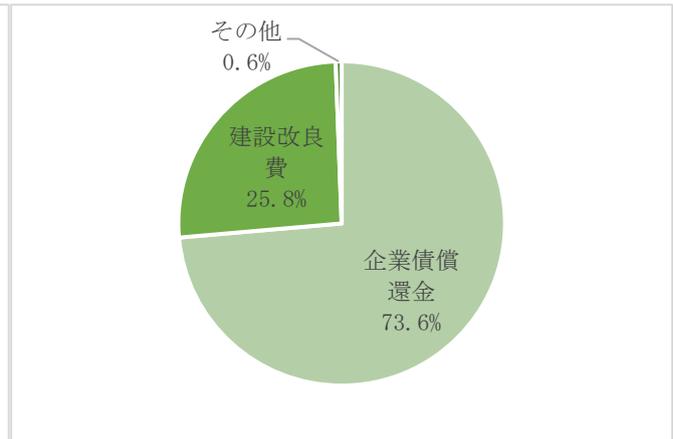
将来に備えた施設整備に伴う収支。資本的収入は一般会計負担金及び補助金、企業債の発行、受益者負担金によるものです。資本的支出は建設改良費や企業債償還金などの支出です。

資本的支出は1,194,670千円となり、主な事業として、建設改良費308,300千円、企業債償還金879,370千円を予定しております。

◎資本的収入の構成割合



◎資本的支出の構成割合



◎資本的収入の構成割合

(単位：千円)

科 目	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予定額	構成比 (%)	予定額	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
企 業 債	252,100	66.7%	198,100	59.2%	54,000	27.3%
他会計負担金	62,414	16.5%	62,086	18.6%	328	0.5%
国・県補助金	50,000	13.2%	50,000	14.9%	-	0.0%
受益者負担金等	13,697	3.6%	24,267	7.3%	△ 10,570	△43.6%
合 計	378,211	100.0%	334,453	100.0%	43,758	13.1%

◎資本的支出の構成割合

(単位：千円)

科 目	令和3年度		令和2年度		比較増減	
	予定額	構成比 (%)	予定額	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
企業債償還金	879,370	73.6%	871,997	76.6%	7,373	0.8%
建設改良費	308,300	25.8%	260,000	22.8%	48,300	18.6%
そ の 他	7,000	0.6%	7,000	0.6%	-	0.0%
合 計	1,194,670	100.0%	1,138,997	100.0%	55,673	4.9%

### 令和3年度建設改良工事予定箇所一覧表

No.	工 事 名	工 事 箇 所	工 事 概 要
1	3 市単公下 1-1 号污水管渠工事	蒲ヶ山	開削 φ 150 L=216.0m
2	3 国補・市単公下 1-2 号污水管渠工事	蒲ヶ山	開削 φ 150 L=335.0m
3	3 国補・市単公下 1-3 号污水管渠工事	蒲ヶ山	開削 φ 150 L=452.0m
4	3 国補・市単公下 1-4 号污水管渠工事	沼田	開削 φ 150 L=359.5m
5	3 国補・市単公下 2-1 号污水管渠工事	柴崎	開削 φ 150 L=90.0m
6	3 国補・市単公下 2-2 号污水管渠工事	柴崎	推進 φ 150 L=190.0m
7	3 市単公下 2-3 号污水管渠工事	柴崎	開削 φ 150 L=50.0m
8	3 国補・市単公下 4-1 号污水管渠工事	駒塚	開削 φ 150 L=228.0m 圧送 φ 75 L=96.0m
9	3 国補公下 4-2 号マンホールポンプ設置工事	駒塚	0.75kw 1箇所
		管渠敷設工事	248,000 千円